

個人同定コンポーネント
(M411PersonDetection)
ユーザマニュアル

目次

1.	はじめに	4
2.	概要	4
3.	動作環境.....	4
4.	制限事項.....	4
5.	個人同定コンポーネントの使用方法.....	5
5.1.	起動準備.....	5
5.2.	コンポーネントの実行	6

図・表目次

図 1	コンポーネント ディレクトリ構成図	5
図 2	コンポーネント接続図	6
図 3	コンポーネント動作例	6
表 1	動作環境	4
表 2	USB カメラ詳細	4

- 改訂履歴 -

Ver.	更新日	改訂内容	改訂
1.0	2008/03/31	初版	イーガー
2.0	2010/07/27	OpenRTM1.0.0 対応	イーガー

1. はじめに

本書は、RT ミドルウェア上で動作する RT コンポーネント「個人同定コンポーネント」の使い方について説明します。

2. 概要

個人同定コンポーネントは、入力された画像から人の顔を検出し、画像に含まれる人の個人識別 ID を出力するコンポーネントです。画像に含まれる人の顔の特徴をコンポーネント内部のデータベースに登録し、新しくデータベースに登録された人物に対して自動的に新しい個人識別 ID を割り当てます。2回目から入力された画像の顔の特徴とデータベースに登録された顔の特徴とが一致したら、同一の個人識別 ID を出力します。

3. 動作環境

個人同定コンポーネントの動作環境を示します。

OS	Microsoft Windows XP SP 3
使用ライブラリ	•OpenRTM-aist-1.0.0-RELEASE •VC++ 2008 Express Edition •OKAO Vision ソフトウェアライブラリ (OkaoG33 Ver4.2 評価版) •OpenCV2.0(テストコンポーネントにて使用)

表 1 動作環境

動作検証に使用した USB カメラの詳細を示します。

メーカー	Logicool
型番	Qcam Orbit AF

表 2 USB カメラ詳細

4. 制限事項

5. 個人同定コンポーネントの使用方法

5.1. 起動準備

各コンポーネントの起動方法を説明します。なお、あらかじめ PC に USB カメラを接続しておいてください。

1) コンポーネントの起動準備

各コンポーネントおよびライブラリを、『図1 コンポーネント ディレクトリ構成図』のように配置し、各コンポーネントは、【任意のディレクトリ】から起動してください。

【任意のディレクトリ】	
└ M411FaceMotionComp	個人同定コンポーネント
└ M441FaceMotionViewComp	個人同定結果出力コンポーネント
└ InUSBCameraComp	USB カメラ入力コンポーネント
└ M221TimeServerComp	時間管理コンポーネント
└ rtc.conf	コンフィグファイル
└ OkaoG33.dll	OKAO Vision ライブラリ
└ cv200.dll	OpenCV ライブラリ
└ cxcore200.dll	OpenCV ライブラリ
└ highgui200.dll	OpenCV ライブラリ

図 1 コンポーネント ディレクトリ構成図

2) 接続

RTSystemEditor を起動し、各コンポーネントを次のように接続します。

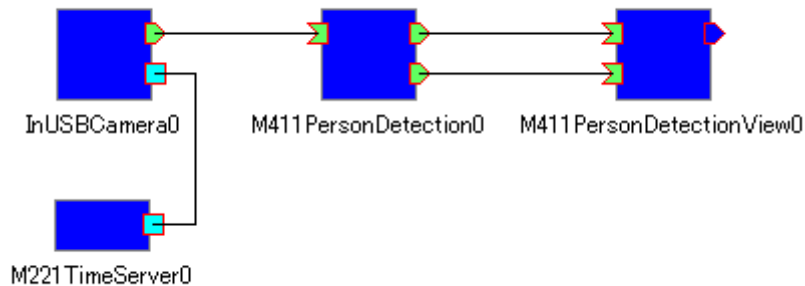


図 2 コンポーネント接続図

3) 起動・設定

RTSystemEditor の右クリックメニューから All Activate を選択します。

5.2. コンポーネントの実行

コンポーネントが実行されると、次の図のように、カメラによって取得された画像と検出された顔の識別 ID 情報が描画された画像が表示されます。

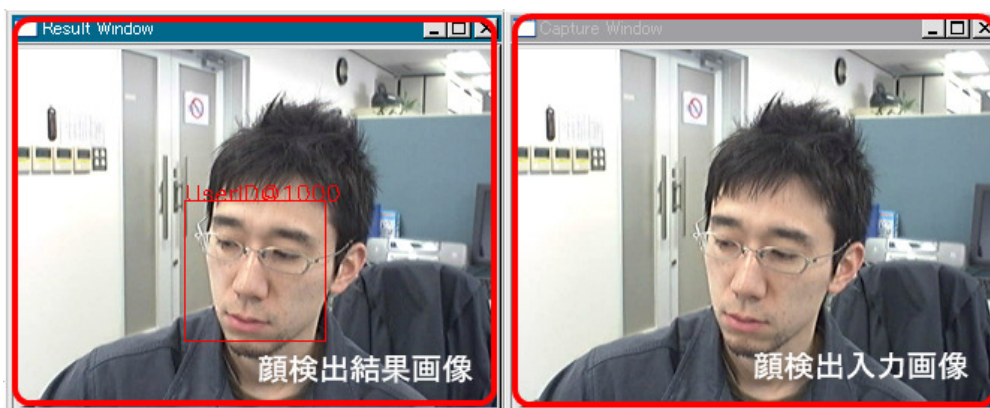


図 3 コンポーネント動作例

以上